

全ト協 次世代新技術対応小委員会が見学会を開催

新型電気トラックへの試乗等を通じ 新技術への理解を一層深める

全日本トラック協会次世代新技術対応小委員会(山口嘉彦委員長)は3月15日、第2回小委員会の開催に合わせ、三菱ふそうトラック・バス(株)川崎製作所(神奈川県川崎市)に設置された「カスタマーエクスペリエンスセンター」の見学会を開催した。

①「次世代新技術対応小委員会」の活動

事業者使いやすい技術求め 次世代新技術の調査・研究を進める

同小委員会は、電気トラック等次世代環境対応トラックや自動運転等新技術の動向把握と会員事業者に情報を提供すること、また新技術がトラック運送事業者にとって使いやすい、導入しやすいものとなるよう意見を取り組みや、自動運転トラ

②トラックメーカーの製作所内で見学会を開催

「eCanter」の試乗を実施

新技術開発への今後の方向性を確認

第2回小委員会・見学会は、三菱ふそうトラック・バス(株)川崎製作所に設置されたカスタマーエクスペリエンスセンターにて開催された。同センターは3年11月18日に開設され、同社の



三菱ふそう担当者のプレゼンテーション

「eCanter」は、国内で115台、海外で243台、合計358台以上が稼働している(4年2月現在)。



松永和夫 三菱ふそうトラック・バス株式会社 会長

試乗後、委員は同センターに移動し、同社における新技術への対応に関するプレゼンテーションを受けた。プレゼンテーションの冒頭、あいさつに立った同社の松永和夫会長は、「政府が掲げている2050年カーボンニュートラルを実現させるため



テストコースで「eCanter試乗」を実施(写真④)。実際にハンドルを握った委員(写真⑤)



同委員会では、今後も新技術を活用した物流効率化の推進等に向けて、会員事業者への情報発信のための活動調査・研究を進めていくとともに、次世代技術のスムーズな導入・普及に向けて、関係機関に対する要望を発信していくとしている。

カスタマーエクスペリエンスセンター内で開催された「第2回小委員会」

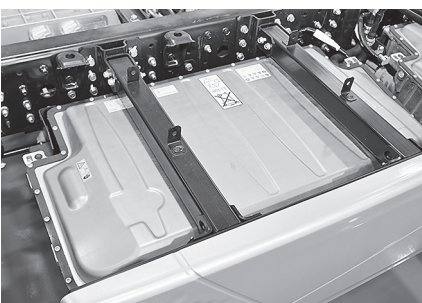
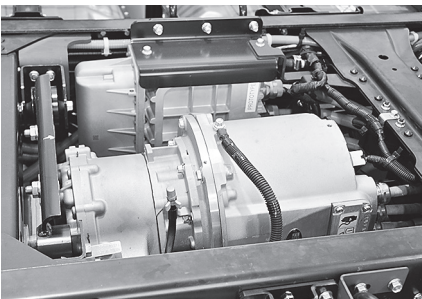
プレゼンテーション終了後には、同センター内動(案)について検討をの会議室で第2回小委員

③第2回次世代新技術対応小委員会

「eCanter」は普通充電と急速充電のどちらにも対応



は、同社担当者から次世代車に関する説明のほか、「eCanter」のデジタルエコシステムや充電システム、導入時の補助金等についての紹介がなされ、プレゼンテーションの内容を受けて、委員からは多くの質問があった。



「eCanter」に搭載されている電気モーター

高性能リチウムイオンバッテリーが6個搭載されている